第十三講・文学的文章⑦

◆主題をとらえる

主題とは、物語文の文章全体を通して、作者が最も伝えたかった内容です。したがって、物語文では、主題をとらえることが読み取りの大きな目的となります。主題をとらえるには、これまでに学習したことをすべて活用して、作者の思いにせまらなければなりませんが、特に次のような点に注意して読みましょう。

(1) 場面・登場人物をとらえる

主題をとらえるためには、まず場面設定を読み取っておく必要があります。特に人物どうしの関係は、主題と深くかかわっている場合が多いので、しっかりつかむようにします。

(2) 心情をとらえる

物語においては、登場人物の心情はとても大きな要素です。何があったときにどんな気持ちになったかをとらえることが大切です。

(3) 心情の変化をとらえる

場面が進むとともに、登場人物の心情も変化します。この心情の変化は物語の展開と密接にかかわっているので、しっかり読み取ることが必要です。どんな心情からどんな心情に変化したのか、何がきっかけだったのか、をていねいに読み取ります。特に大きな変化がある場合は、その変化自体が物語の主題である場合もあります。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

　三上くんは、手紙を何通か少年に書き送っていた。引っ越して間もない四月に届いた手紙には、〈今度の学校は、あまりおもしろくありません〉とあった。〈トシユキや南小の友だちのことを、しょっちゅう思いだします〉とも書いていた。手紙の締めくくりは〈南小四年一組、*フォーエバー！〉だった。

　五月の手紙には、S市のことが書いてあった。〈デパートがたくさんあって、日曜日は買い物に行くのが楽しみです〉〈アーケードの商店街もあります〉〈市営球場ではプロ野球の試合もあるというので、いまから楽しみです〉〈今度、学校の社会科見学で新聞社の支局に行きます〉〈S市のほうが都会です〉

　少年が住んでいるのは「町」だった。S市は、十万人以上の人口がある、県内でも大きいほうの「市」――県の職員だった三上くんのお父さんは出世してS市に転勤になったんだと、町役場に勤める少年のお父さんは少しうらやましそうに言っていた。

　五月に届いた別の手紙には、新しい学校のことが書いてあった。

〈けっこうおもしろい友だちもいます〉〈こっちはクラスの数も多いので、運動会はすごくもり上がるそうです〉〈足の速い子がたくさんいるので、リレーの選手にはなれないかもしれません〉〈トシユキと同じ名前の（みょう字はちがいます）友だちがいて、トシユキのことを教えてあげると、「今度会ってみたい」と言っていました〉〈こっちは男子と女子がわりと仲がよくて、恋人になってる二人もいます〉〈前の学校より勉強の進み方が速いので、宿題をやるのが大変です〉

　それを読んだとき、少年はちょっとムッとした。

①<u>〈こっち〉や〈前の学校〉という言い方がおもしろくなかった。</u>自分と同じトシユキという名前の奴のことを、どうせたいしたことないよ、と決めつけた。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

手紙の返事に、〈約束どおり、夏休みになったら遊びに行きます〉と書いた。南小の友だちの様子を一人ずつこまかく教えてやって、最後に〈②南小も五年生になったら急に勉強が難しくなりました〉と書いた。

③六月の手紙は、葉書だった。〈遊びに来るのを楽しみにしています〉とあった。

手紙のやり取りは、そこまでだった。S市を訪ねる段取りは、夏休み前にお母さんとおばさんに決めてもらった。「自分で電話すればいいのに」とお母さんはあきれ顔になって言ったが、少年は「いいよ、お母さんが決めて」と電話番号のメモを渡しただけで、自分では受話器を取ろうとしなかった。

「もしも断られたら嫌だから？」とお母さんはいたずらっぽい口調で訊いた。

「違うよ」と少年はすぐさま首を横に振った。

「じゃあ、アレでしょ、三上くんとしゃべるのが恥ずかしいんでしょ」

「違うってば。いいから早く電話してよ」

三上くんの家に電話したお母さんは、おばさんと長話をして、「そうなんですよ、トシユキが、もう、とにかく三上くんに会いたい会いたいって言ってるんで……」と笑った。頬を赤くした少年は、電話を終えたお母さんに「違うよ、そんなこと言ってないよ、嘘つかないでよ」と抗議した。でも、お母さんにきょとんとした顔で「でも、会いたいから遊びに行くんでしょ？」と訊かれると、④なにも答えられなかった。

（重松清『南小、フォーエバー』）

＊フォーエバー＝英語で「永遠に」という意味。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　トシユキと三上くんの関係をまとめた次の文の□にあてはまることばを、文中からそれぞれ書きぬきなさい。

トシユキと三上くんは以前［　　　］の同級生だったが、三上くんが［　　　］に引っ越して、はなればなれになった。

問二　――線①「〈こっち〉や〈前の学校〉という言い方がおもしろくなかった」について、次の(1)・(2)に答えなさい。

(1)　四月の手紙では、〈こっち〉や〈前の学校〉のことを何と言っていますか。

こっち［　　　］

前の学校［　　　］

(2)　その言い方がおもしろくないのはなぜですか。最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　S市の都会ぶりを見せつけられたように感じたから。

イ　三上くんがS市の人間になってしまったように感じたから。

ウ　トシユキたちの町をばかにされたように感じたから。

エ　三上くんがトシユキたちの町をわすれてしまっているように感じたから。

［　　］

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問三　――線②「南小も……難しくなりました」とありますが、このことばにはトシユキのどんな気持ちがこめられていますか。次の文の□にあてはまることばを、文中からそれぞれ書きぬきなさい。

□□□になったから勉強が難しくなっただけで、S市の学校のほうが□□わけではな□□□□□□□いと、三上くんに反発したい気持ち。

問四　――線③「六月の手紙は、葉書だった」とありますが、このことからどんなことがわかりますか。最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　トシユキの様子が気になっていること

イ　トシユキの返事が気に入らなかったこと

ウ　トシユキに会えないつらさがとても大きいこと

エ　トシユキに知らせたいことが少なくなったこと

□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問五　――線④「なにも答えられなかった」とありますが、このときのトシユキの気持ちとして最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　まったく見当外れなので、あきれてものも言えない。

イ　言われた通りなので、言い返せない。

ウ　考えもしないことだったので、返事のしようがない。

エ　会いたくはないが、正直に言うわけにもいかない。

□

問六　この場面でえがかれていることの中心として最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　トシユキと三上くんの気持ちのすれちがいのきざし

イ　子ども同士のつき合いから親もまきこんだつき合いへの変化

ウ　市と町のくらしのちがい

エ　トシユキと三上くんの固い友情

□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十三講　文学的文章⑦

一題目

問一　南小四年一組・S市

問二　(1)〈こっち〉　今度の学校
〈前の学校〉　南小
(2)　イ

問三　五年生・勉強の進み方が速い

問四　エ

問五　イ

問六　ア

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。